

平成30年度 農林水産部当初予算(一般会計)要求の概要

(単位：千円)

区分	30年度当初要求額	29年度当初予算額	増減額	増減率
事業費	51,623,180	48,387,792	3,235,388	6.7%
うち公共事業費	28,081,192	26,706,754	1,374,438	5.1%

I 要求のポイント

1 活力 ーいきいきと働き地域が輝く活力ある大分県ー

【基本方針】

農林水産業は、国の米政策の見直しをはじめ、伐採期を迎えた森林の主伐・再造林の徹底、水産物の消費が減少する中での新たな戦略魚種の販路開拓など、全てにわたって大きな転換期にあります。

こうした変化に確実に対応し、農林水産業を産業として持続させるためには、マーケットインの商品づくりを基本に構造改革を加速し、担い手の確保・育成や生産性の向上、販売面での体制強化などに向けた取組を農業団体と連携して進め、農林水産業の創出額のさらなる向上を図っていくことが重要です。

「挑戦と努力が報われる農林水産業」「安心して暮らしていける農山漁村の実現」

米政策の見直しに対応するため、農地の集積・集約化を加速するとともに、リース事業の活用による園芸ハウス等の初期投資の負担軽減などに取り組み、水田の畑地化による園芸品目への転換を急ぎます。

マーケットインの発想を生産振興等の中心に据え、県産いちご「ベリーツ」の生産・流通拡大に取り組むとともに、第11回全国和牛能力共進会での好成績を契機に「おおいた豊後牛」のブランド力の強化を図ります。また、主伐・再造林を推進するため、一貫造林や長期施業受託に取り組む林業事業体を育成するほか、水産業に関しては海外の大ロニーズに対応した養殖ブリ類の生産体制の強化を支援します。

新たな担い手の確保・育成に向けては、白ねぎの県域就農学校を新設するほか、ICT等を活用した匠の技術の見える化などに取り組みます。また、収穫や出荷調整作業等の労働力を確保するため、農業労働力確保戦略センターの体制を強化します。

元気で豊かな農山漁村を将来に継承していくため、九州北部豪雨災害等からの復旧・復興を着実に進めることはもとより、鳥獣害対策の強化やジビエ利用の促進等に取り組むほか、災害に強い森林づくりを加速します。

II 事業体系（県政推進指針）

2 活力 ーいきいきと働き地域が輝く活力ある大分県ー

（1）変化に対応し挑戦と努力が報われる農林水産業の実現

①農地集積と水田農業の転換

—	米政策転換対応型水田畑地化推進事業	24,644
—	新 農地集積担い手育成緊急対策事業	50,000
—	農地中間管理推進事業	397,162
—	活力あふれる園芸産地整備事業（水田の畑地化推進分）	168,427
—	集落営農構造改革対策事業	87,098
—	新 水田畑地化等大規模園芸産地づくり事業	15,300
—	新時代の水田農業低コスト化対策事業	61,273
—	水田作物高付加価値産地づくり事業	5,370

②マーケットインの商品づくりの加速

—	活力あふれる園芸産地整備事業（一部再掲）	2,213,123
—	新 県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業	41,497
—	— おおいた豊後牛流通促進対策事業	69,234
—	— 肉用牛生産基盤拡大支援事業	1,522,792
—	新 第12回全国和牛能力共進会対策事業	4,582
—	— 県産水産物流通拡大推進事業	15,052
—	— おおいた味力発信・地産地消推進事業	4,065
—	— 農林水産物輸出需要開拓事業	47,831
—	新 ブリ類養殖業成長産業化推進事業	20,618
—	— G A P 認証農場拡大推進事業	19,941
—	— 畜産農場H A C C P 等認証取得推進事業	3,495

③力強い経営体の確保・育成

—	農林水産業労働力最適活用支援事業	3,173
—	— 地域育成型就農システム支援事業	32,561
—	— 園芸産地スマート化推進事業	36,116
—	新 新たな基幹的肉用牛繁殖経営体育成事業	46,963
—	— 肉用牛競争力強化対策事業	115,259
—	— 酪農経営生産性向上対策事業	148,814
—	— 酪農基盤対策事業	69,870
—	新 主伐・再造林システム構築総合対策事業	119,960
—	新 原木中間集積地整備事業	57,950
—	新 林業労働安全向上対策事業	3,012
—	新 再造林担い手確保支援事業	8,347
—	新 乾しいたけ新規参入者支援事業	6,300
—	— しいたけ増産体制整備総合対策事業	90,549

④元気で豊かな農山漁村の継承

—	世界農業遺産ファンド推進事業	1,501,000
—	— 直売所魅力・機能向上事業	35,020
—	— 鳥獣被害総合対策事業	779,789
—	新 ジビエ利用拡大モデル整備事業	74,975
—	新 災害に強い森林づくり推進事業	72,626
—	— (公) 農業農村整備事業	10,578,039
—	— 漁業調査船代船建造事業	342,188

⑤特徴ある地域づくり

—	新 国東半島ヒジキ養殖振興特別対策事業	4,571
—	新 陽のさす里山環境整備事業	2,000

(注) 事業名前の「新」は新規事業を示す。

平成30年度 農林水産部当初予算(一般会計)要求に対するご意見をお寄せください。

e-mail: a15000@pref.oita.lg.jp (農林水産部農林水産企画課)

平成30年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：農林水産部）

（単位：千円）

事業名	平成30年度 当初要求額 〔平成29年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
1 米政策転換対応型水田畑地化推進事業	24,644 (22,889)	30年産米からの米政策の見直しに対応するため、水田の畑地化による園芸品目の導入を加速する。 ・畑地用の農地提供者に対する協力金の交付（2万円／10a） ・畑地化に必要な農地基盤整備の地元負担の軽減（中山間地10%→0%、平地15%→5%） など	農地活用・集落営農課
特 2 農地集積担い手育成緊急対策事業	50,000 (0)	米政策の見直しに対応するため、水田等の大規模化や畑地化に向けて農地を集積・集約化する担い手に対し、交付金を支給する。 ・交付額 最大2万円／10a	農地活用・集落営農課
3 農地中間管理推進事業	397,162 (388,849)	担い手への農地集積と集約化により農地利用の高度化を図るため、農地の中間的な受け皿である農地中間管理機構の運営を支援するとともに、機構への農地提供者に対し協力金を交付する。 【特】新規就農を促進するため、機構による農地の先行借受けを支援する。 〔債務負担行為 165,000千円〕	農地活用・集落営農課
4 活力あふれる園芸産地整備事業	2,213,123 (2,129,207)	マーケットニーズに対応した産地の規模拡大等による園芸品目の産出額向上のため、栽培施設等の整備に要する経費に対し助成する。 【新】県産いちご「ベリーツ」の栽培施設等整備 【新】園芸品目導入時の初期投資を軽減するため、果樹用のリース団地整備に対する支援や低コストハウスを活用したリース事業に取り組むとともに、未収益期間のリース料に対し助成する。	園芸振興室
5 集落営農構造改革対策事業	87,098 (52,851)	集落営農法人の経営基盤を強化するため、規模拡大や園芸品目の導入等による経営多角化を支援する。 【新】園芸品目導入時の栽培実証や機械等整備に対する助成 【新】先進農家による園芸品目の導入指導 【特】各地域での広域営農システムを構築するため、地域農業経営サポート機構の運営経費等に対し助成する。（4か所→10か所）	農地活用・集落営農課
特 6 水田畑地化等大規模園芸産地づくり事業	15,300 (0)	大規模な園芸産地づくりを推進するため、農家の意向調査や適地把握に向けた土壌調査などを実施し、候補地域での農地再編整備構想を策定する。	農村整備計画課
7 新時代の水田農業低コスト化対策事業	61,273 (78,088)	水田農業の低コスト化を図るため、乾田直播栽培の全県展開を進めるほか、営農機械等の導入による担い手の規模拡大などを支援する。	農地活用・集落営農課
特 8 県産いちご「ベリーツ」産地・流通拡大対策事業	41,497 (0)	県産いちご「ベリーツ」を全国ブランドにするため、拠点市場でのシェア獲得に向けた生産・流通対策を実施する。 ・栽培管理技術のマニュアル化 ・「さがほのか」からの品種転換に伴う資材導入経費等への助成 ・拠点市場や仲卸業者と連携した大手量販店等での販売促進 ・SNS等を活用した情報発信 ・製菓会社や有名レストラン等と連携した商品展開	おおいブランド推進課 園芸振興室
9 おおい豊後牛流通促進対策事業	69,234 (19,981)	おおい豊後牛のブランド力向上を図るため、豊後牛流通促進対策協議会が行う販売促進活動等を支援するとともに、認知度向上に向けて大都市圏の外食事業者の店舗をサポーターショップに認定する。 【特】おおい豊後牛を全国ブランドにするため、全国和牛能力共進会での好成績を機に、県産和牛の強みの再評価による新たなリーディングブランドを創出するとともに、全国向けの情報発信を強化する。	畜産振興課

平成30年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：農林水産部）

（単位：千円）

事業名	平成30年度 当初要求額 〔平成29年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
10 肉用牛生産基盤拡大支援事業	1,522,792 (1,320,994)	<p>おおいた豊後牛の安定供給に向けて繁殖・肥育農家の生産基盤を強化するため、繁殖雌牛の増頭を支援するとともに、大分県畜産公社が行う肥育牛預託貸付制度の原資を貸し付けるほか、第11回全国和牛能力共進会の出品牛の子牛造成を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繁殖雌牛増頭時の育成費支援 補助単価 10.5万円/頭 4.8万円/頭（7歳未満の成牛） 補助率 県2/3、市町村1/3 ・肥育牛預託貸付制度 肥育素牛預託 80万円/頭 飼育管理預託 120万円/頭 	畜産技術室
11 新 第12回全国和牛能力共進会対策事業	4,582 (0)	<p>全国和牛能力共進会の次回大会（平成34年）で好成績を獲得するため、DNA解析技術等を活用した高能力雌牛群の選抜に取り組む。</p>	畜産技術室
12 県産水産物流通拡大推進事業	15,052 (14,474)	<p>県産水産物のブランド確立による流通拡大を図るため、戦略魚種の販売促進活動に要する経費に対し助成するとともに、「おおいた県産魚の日」（毎月第4金曜日）を中心に業界が一体となって行う消費拡大の取組などを支援する。</p> <p>【新】ヒラマサの福岡や関西地区を中心とした販路開拓</p>	漁業管理課
13 おおいた味力発信・地産地消推進事業	4,065 (1,639)	<p>県産農林水産物の消費拡大や地産地消を推進するため、コンビニエンスストア等と連携し、県産品を活用した若年層向けの商品開発に取り組む。</p> <p>【新】県内の優れた食材を外国人観光客等に「知って、買って、食べて」もらい、輸出拡大などにつなげるため、外国人向けのメニューを開発・提供する飲食店等を「とよの食彩愛用店プレミアム(仮称)」に認定し、広く周知する。</p>	地域農業振興課
14 農林水産物輸出需要開拓事業	47,831 (37,761)	<p>海外需要を取り込み農林水産業者の所得拡大を図るため、輸出拡大の取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【特】展示会フェア等による県産食材の魅力発信 【特】輸出解禁となったアジア地域の販路開拓（梨、牛肉等） 【特】米国輸出向け食品の予防管理を担う人材の育成 	おおいたブランド推進課
15 特 ブリ類養殖業成長産業化推進事業	20,618 (0)	<p>養殖ブリの輸出を推進するため、事業者が実施する生産体制の整備に対し支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖施設の整備 ・相手国の衛生基準に適合する生産マニュアル作成 	水産振興課
16 G A P 認証農場拡大推進事業	19,941 (4,505)	<p>マーケットから求められる農産物の安全・安心を確保するため、生産者の事業展開に応じたGAP認証取得を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GAP認証審査員の県内確保・育成 【特】ICTを活用したGAP指導の強化 	地域農業振興課
17 畜産農場HACCP等認証取得推進事業	3,495 (2,137)	<p>畜産物の輸出・販路拡大を図るため、JGAPや農場HACCPの認証取得を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農場従事者への教育等にあたる指導員の確保・育成 ・認証取得に取り組む農場の拡大に向けた普及・啓発 	畜産振興課
18 農林水産業労働力最適活用支援事業	3,173 (2,032)	<p>雇用労働力の不足に対応するため、労働力需給を調整する農業労働力確保戦略センターの機能強化を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【特】農業労働力確保戦略センターの2拠点化 【特】農業機械オペレーターの設置 	園芸振興室

平成30年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：農林水産部）

（単位：千円）

事業名	平成30年度 当初要求額 〔平成29年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
19 地域育成型就農システム支援事業	32,561 (20,853)	戦略品目等の担い手を確保・育成するため、就農学校やファーマーズスクールを設置・運営する生産者組織等に対し、指導者の配置や圃場の借り上げ等に要する経費を支援する。 【特】白ねぎ等の産地拡大を加速するため、全県域での新規就農が可能となる広域就農学校の設立を支援する。	新規就業・経営体支援課
20 園芸産地スマート化推進事業	36,116 (36,636)	園芸産地の生産技術高度化による生産性向上を図るため、ハウス内環境モニタリングシステムや、熟練農業者の栽培技術の「見える化」により、新規就農者の技術習得に活用できるシステムの導入を支援する。 【新】いちご、ぶどう	園芸振興室
特 21 新たな基幹的肉用牛繁殖経営体育成事業	46,963 (0)	畜産農家の高齢化が進む中、おおいた豊後牛の出荷頭数を確保するため、肉用牛繁殖経営における新規就農を促進しつつ、50頭規模以上の基幹的経営体を中心とした生産体制への転換を図る。 ・畜舎や省力化機器の整備に対する補助率嵩上げ ・新規就農者が利用する定体型ヘルパーの利用料助成の充実 ・肉用牛ヘルパー等の作業受託サービスの県域展開に向けた検討	畜産技術室
22 肉用牛競争力強化対策事業	115,259 (94,685)	肉用牛の生産基盤確立のため、地域内連携による畜産クラスター計画に基づく牛舎等の整備に対し助成する。	畜産技術室
23 酪農経営生産性向上対策事業	148,814 (115,371)	生乳生産量の確保を図るため、飼養環境の改善に向けた省力化機器等の導入や、優秀な乳用後継牛の確保に向けた高能力種雄牛の雌性判別精液の利用による人工授精を支援するほか、大分県酪農業協同組合が行う乳用雌牛の貸付制度の原資を貸し付ける。 【特】高能力な雌性判別受精卵の安定供給体制の整備	畜産技術室
24 酪農基盤対策事業	69,870 (972,238)	酪農の生産基盤を拡大するため、地域内連携による畜産クラスター計画に基づく牛舎等の整備に対し助成する。	畜産技術室
特 25 主伐・再造林システム構築総合対策事業	119,960 (0)	林業の成長産業化等に向けた森林施業の低コスト化を実現するため、主伐から再造林までの一貫作業システムの導入に取り組む事業体を支援する。 主伐への本格移行に伴う再造林面積の拡大に対応するため、スギ挿し木苗の供給体制の構築を支援する。	森林整備室
特 26 原木中間集積地整備事業	57,950 (0)	原木流通の効率化による森林所有者の利益向上等を図るため、大型工場等への原木直送システムの構築を支援する。 ・原木中間集積地の整備	林産振興室
特 27 林業労働安全向上対策事業	3,012 (0)	林業における労働災害の発生を防止するため、事業主や現場指示者等を対象とした労働安全研修を行うほか、的確な作業指示体制の確立を支援する。	林務管理課
特 28 再造林担い手確保支援事業	8,347 (0)	再造林を行う造林作業者の確保・育成のため、新規参入希望者等に対し、現場訓練型の短期研修等を実施するほか、労働環境の改善を支援する。	林務管理課

平成30年度 当初予算（一般会計）要求の主な事業概要

（部局名：農林水産部）

（単位：千円）

事業名	平成30年度 当初要求額 〔平成29年度 当初予算額〕	事業概要	所管課
29 特 乾しいたけ新規参入者支援事業	6,300 (0)	高齢化が進む原木しいたけ栽培の担い手を確保するため、新規参入者の育成に向けた取組を支援する。 ・しいたけ版短期ファーマーズスクールの設立 ・新規参入者の未収益期間を支援する給付金の交付	林産振興室
30 しいたけ増産体制整備総合対策事業	90,549 (60,346)	しいたけの生産性向上と増産を図るため、林内作業路の開設や栽培施設等の整備に対し支援する。 【特】新規参入者等の初期投資を軽減する大規模人工ほだ場の造成	林産振興室
31 世界農業遺産ファンド推進事業	1,501,000 (1,501,000)	世界農業遺産認定地域を次世代に継承し発展させるため、おおいた世界農業遺産次世代継承ファンドの運用益を活用し、次世代への継承教育や世界農業遺産地域ブランド認証品の販売促進等を実施する。 【新】ブランドを活かしたビジネスプランの募集・事業化 【新】認定5周年記念シンポジウム等による世界農業遺産のPR 〔ファンド運用益 28,590千円〕	農林水産企画課
32 直売所魅力・機能向上事業	35,020 (18,482)	地域の生産活動を支える直売所の集客と販売額の増加を図るため、直売所が行う商品開発、集客力向上や魅力発信に向けた取組などを支援する。	地域農業振興課
33 鳥獣被害総合対策事業	779,789 (752,797)	イノシシやシカ、サル等の野生鳥獣による農林作物被害を軽減するため、金網柵の設置など集落全体で行う被害対策活動を支援するほか、捕獲報償金を交付するとともに、狩猟者の確保・育成対策を実施する。	森との共生推進室
34 特 ジビエ利用拡大モデル整備事業	74,975 (0)	ジビエの利用を促進するため、食肉処理施設の整備や安定供給に向けた保冷車等の導入を支援するほか、適切な処理施設としての認証に向けた衛生管理研修会の開催や学校給食へのジビエ導入などに取り組む。	森との共生推進室
35 特 災害に強い森林づくり推進事業	72,626 (0)	流木や林地崩壊の発生を防ぐため、流出の恐れがある河川沿いの人工林の伐採や尾根・急傾斜地の強度間伐を実施するほか、急傾斜地の早期広葉樹林化に向けた採光性の高い帯状伐採に取り組む。	森林整備室
36 漁業調査船代船建造事業	342,188 (7,731)	海洋観測や赤潮監視体制を強化するため、老朽化している漁業調査船「豊洋」の代船を建造するとともに、ドローン導入による情報収集力の強化など調査船の機能充実を図る。	地域農業振興課

※ 〔新〕は「新規事業」、〔特〕は「創生前進枠事業」

平成30年度 当初予算（一般会計）要求における廃止事業

（部局名：農林水産部）

（単位：千円）

所管課	事業名	廃止理由	29年度 当初予算額
1 地域農業振興課	安全・安心な商品づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 安心いちばんおおいた産農産物認証制度について、経過措置を講じつつGAP認証制度へ移行 	26,843
2 地域農業振興課	直売所魅力・機能向上事業（地域連携イベント等への助成事業）	<ul style="list-style-type: none"> 平成28～29年度の2か年事業として実施 事務事業評価結果を踏まえ廃止し、新たに「看板、メニュー等の多言語化支援」などに組み替えて要求 	7,470
3 農地活用・集落営農課	農地集積・集約化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 事業効果等を検証し、水田農業の大規模化や畑地化に向けた集積・集約に取り組む担い手を重点的に支援する「農地集積担い手育成緊急対策事業」に組み替えて要求 	60,000
4 おおいたブランド推進課	卸売市場施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成28～29年度の2か年事業として実施 所期の目的を達成したため終了 	79,078
5 園芸振興室	果樹産地改革推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 果樹の園地流動化など、所期の目的を達成したため終了 果樹の新規参入を促進するため、「活力あふれる園芸産地整備事業」に「果樹リース団地整備」を加えて要求 	2,938
6 林産振興室	おおいた型次世代木造住宅創造事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域材の需要拡大を目的とした地域材パネル工法等の普及について、所期の目的を達成したため、平成28年度から30年度までの3か年事業を1年前倒して廃止 今後の需要拡大対策は「木造建築物等建設促進総合対策事業」で要求 	3,462
7 森林整備室	スギ挿し木苗自給率向上対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成27～29年度の3か年事業として実施 事務事業評価結果を踏まえ、主伐への本格移行に伴う再造林面積の拡大に対応するため、緊急的なスギ苗木の増産等に向けた「主伐・再造林システム構築総合対策事業」に組み替えて要求 	7,164
8 森との共生推進室	野生鳥獣食肉等利活用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価結果を踏まえ、平成28年度から31年度までの4か年事業を2年前倒して廃止 新たに、ジビエ食肉処理の衛生管理の向上等に取り組む「ジビエ利用拡大モデル整備事業」に組み替えて要求 	8,000
9 水産振興課	戦略魚種養殖推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 事務事業評価結果を踏まえ、平成27年度から30年度までの4か年事業を1年前倒して廃止 ブリの輸出拡大などに取り組む「ブリ類養殖業成長産業化推進事業」に組み替えて要求 	7,314
10 水産振興課	アサリ増養殖推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度から29年度までの事業として実施 事業効果等を検証し、水産資源の早期回復を図る「水産資源管理推進事業」と浅海域の養殖を推進する「浅海養殖推進事業」に組み替えて要求 	7,590